



挑戦を続ける

生徒のみなさんへ

● イメージしてみよう

生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。新しい年が始まりました。2学期の終業式に「キャッチする力、イメージする力」についてお話しました。これに関して、「イメージすること」について一歩進めて書きます。

3学期は、よく、1年のまとめとなる学期と言われます。ここで言う「まとめ」をイメージしてみると、「4月から自分が行動してきたことや考えたことを振り返り、次の学年をより良い学年にするために、これからの3か月間で修正することを決め行動すること」このような感じでしょうか。つまり、進級するにあたって、コロナのさまざまな制限のある中でも、自分がどれだけ「やるべきこと」「やれること」に挑戦してきたのか振り返る必要があるということです。

1年生は、初めての中学校生活でどれだけのことに挑戦できたのか振り返ってみてください。4月からは後輩が入学してきます。理想の先輩像をイメージして、これまで頑張ってきたことを続けたり、新たなことに挑戦したりしましょう。

2年生は、コロナの影響から、中学校の1年目、2年目とで、全く違う流れの中でもいろんなことに挑戦し、困難を乗り越えてきました。コロナの影響が続く中、熊西中学校のリーダー学年として、自分自身はどのようなことに挑戦すべきかイメージしてください。



3年生は、理想とする進路実現のため、自分が何に挑戦すべきか分かっていることと思います。ですので、あとはいろんな誘惑に負けず、そのことをいかに実行するかにかかっています。また、受験は団体戦です。互いに励まし合い、応援し合って乗り越えていきましょう。1・2年生も、3年生が中学校生活の集大成として、この2か月を過ごすことになるということをイメージしておいてください。

● 何かが出来るようになる自分をイメージし、挑戦する

3学期のスタートから、やるべきことをやりなさいとか、挑戦しなさいとか、プレッシャーになることを書きました。「わかっているけど、挑戦するって難しいよなあ」と感じている人も多いと思います。私もそう思います。何かに挑戦したら、確実に報(むく)われるのであれば、誰でも必ず挑戦するでしょう。むしろ、すぐに報われないことの方が多いから、なかなか一歩が踏み出せなかったり、続かなかったりするのもかもしれません。ですので、報われないかも知れないところで、情熱、気力、モチベーションをもって継続して挑戦することは、とても大変なことです。ですから、それをやるのが「才能」であると思っています。

よく、才能は、もって生まれるものと言われることがあります。だから、「自分には才能がないから・・・」と誤ってしまいがちです。辞書で「才能」を調べてみると、「才知と能力。ある個人の一定の素質、または訓練によって得られた能力」と書かれています。つまり、粘り強く努力を続けて得られる能力ということですから、才能とは、「挑戦する努力、そしてその継続で得られる力」であると言えます。

何に挑戦するかはあなた次第。小さなことでも、何かが出来るようになる自分をイメージすると、きっと生活の中にわくわくすることが増えていきます。皆と一緒に、「挑戦し続ける人が集まる熊西中学校」を作っていきましょう。そんな学校をイメージして、私も挑戦を続けたいと思います。



● 生徒会誕生

10月から11月下旬にかけて、生徒会役員選挙や生徒会の交代式が行われ、新しい生徒会が誕生しました。生徒会組織をつくる第一歩として、次期生徒会長や副会長、書記長をやってみようという生徒を募り、その立候補者の目指す学校のビジョンや決意などを全生徒で聞き、自分たちのリーダーとなる人物を投票で決定しました。コロナの不安が消えない今は、経験したことのない日々の連続です。そのような中、生徒会役員となって生徒の皆さんの意見を聞きながら、学校を創っていく決断をしたことは、かなりの覚悟、勇気が必要だったことと思います。今回、立候補した五名の皆さんの言葉からは、この困難を熊西中学校の生徒皆の力で乗り越えていこうとする、たくましい気持ちや、挑戦する気力が伝わってきました。



写真左…応援演説の様子。全校集会を控えているため立会演説会はライブ配信にて行われました。中央左…全校生徒に向けて、カメラに向かって懸命に訴えかける候補者の〇〇さん。中央・右…北九州市で行われる選挙で実際に使用する記載台と投票箱を使用し、手続きも正式な選挙と同じ要領で投票が行われました。投票の結果、立候補者全員が信任を受け、当選を果たしました。



写真左・中央…生徒会交代式の様子。旧役員から新役員へ、これまでの生徒会資料が渡され、引き継ぎがなされました。この様子もまたライブ配信され、全校生徒が見守る中、交代式が行われました。右…「コロナ禍で生活が一変し、以前の熊西中に戻ることがまだ厳しい状況です。しかし、変化は悪いことばかりではありません。私たち生徒一人一人が学校をより良くできるように考えられれば、良い変化が生まれるのだと思います。」このように力強く所信を表明する〇〇新生徒会長。

今の厳しい状況を「良い変化の時にしたい」と、とらえることが出来る樋口新会長の言葉から、たくましさ頼もしさが感じられます。皆さんにも、生徒会役員という大きな挑戦でなくても、身の回りに挑戦の種はあります。「あの人に『おはよう』と声をかけてみよう」「あの人と友達になってみよう」「授業で発表してみよう」「やったことのない係をしてみよう」「ちょっとだけ手伝ってみよう」「恥ずかしくて言えなかった『ありがとう』を言ってみよう」さあ、勇気を出して行動してみましょ。毎日、一人でも多くの仲間たちが挑戦しようとしたならば、きっと、この熊西中学校は、もっと気持ちの良い、わくわくするような場所になります。

● 門松を作りました

地域の中学生を少しでも元気づけたいと、熊西校区まちづくり協議会の増田会長、末吉 PTA 会長をはじめ、地域の方々のご協力があり、生徒昇降口に見事な門松が設置されました。地域行事もコロナの影響から参加が難しくなったり、地域の方を学校へ招くことができなかつたりと、さびしい状況が続いています。けれども、誰かが見えないところで皆さんのことを想い続けているということを忘れないでください。



早朝、山に登り、竹林の急斜面から竹を切り出すところから重労働の作業が始まります。竹を洗い、一本一本のこぎりできれいに加工し、縄でしばり、土や石を入れ、飾り付ける…とても大変な共同作業の末、やっと出来上がります。教頭先生も大奮闘です。